

第二十四回帝國議會 院 關稅定率法輸入稅表中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十一年二月二十六日午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君 中西 光三郎君
山本 幸彦君 荻野 芳藏君
佐藤 伊助君 山口 達太郎君
安田 勲君 駒林 廣運君
野尻 邦基君 大竹 貫一君
青柳 信五郎君 日向 輝武君
出席政府委員左ノ如シ
大藏省主稅局長 櫻井鐵太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
關稅定率法輸入稅表中改正法律案

○委員長(野田卯太郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス
○荻野芳藏君 私ハ第二回委員會ニ缺席シマシタ故尋ネルコトガ重複スルカモ知レマ

セヌガ、其時ハ御注意ヲ願ヒマス、第一ノ質問ハ此關稅定率表改正ハ前ニ條約改正
ノトキ五分ト云フコトニシ其後三十九年ニ改正シ、當分ニテヤルト云フコトニナシテ居
タ、然ルニ今度又之ヲ改正スルコト云フハドウ云フ事情ニ依テモナルカ、一昨年ノ改
正ノトキ、政府ハ四十四年ノ條約ノ効力ヲ失フ前、即チ四十二年迄ニハ完全ナ改正ヲ
スル、コレ故昨年モ一昨年モ關稅調查ニ付キ豫算ニ於テ若干經費ヲ計上サレ居ル、ソ
レニ依テ完全ノ調查ヲ爲シ、四十二年ニ出ス、ソレマデハ改正ヲヤラナイト、斯ウ云フ意
味ニナシテ居タ、併シ昨年ノ如キ其中中棉實ノ改正、砂糖ノ改正ノ如キ本年モ改メラレ
タケレドモ、是等ハ特別ノ事情ニ依テモナル、然ルニ事情ヲ異ニシタ此改正ヲ當分
改正シナイト云フコトニテ居タノヲ、今出スト云フノハドウ云フ譯カ、國民ハ其當時ノ
政府委員ノ說明ニ依リ四十二年迄ニハ改正ヲヤルガ、ソレマデハサウ云フコトハ無イトシ
テ居タノデ、是デハ朝令暮改ト云フヤウナ傾キガアル、此結果會議ニ依テハ株式ガ暴
落シ事業ガ頓挫スルコト云フコトニナル、政府ハ四十二年迄ハ改正シナイト云フコトヲ此
處デ改正スルハドウ云フ譯カ、ソレヲ伺ヒタイ、次ハ政府ハ豫テ經濟界ノ激變ヲ恐レテ、
例ヘバ宅地稅改正ノ如キ、率ハ改正シタガ其通りヤレバ高イモノニ向テ非常ニ迷惑ス
ルモノガアルト云フノデ、最高限ヲ掬ヘテ上ヲ止メルト云ウテ爲シ、即チ經濟界ノ激變ニ
付テ財政當局者ハ注意ヲサレテ居ルノデアアル、此改正ヲ見ルト餘程突飛ノ増加ヲシテ居
ルガ、是デ經濟界ノ激變ヲ被ルコトハナイ、是デ一向差支ナイト云フ見込デアアルカ、又唯
今申上ゲタ通り關稅ノ此改正ヲ急ニシナケレバナラヌト云フ理由ノ中ニハ、我國ノ生産
業即チ越前其他ノ石油業ノ上ニ何等カ此經濟上ノ狀態ニ付テ斯ノ如ク急ニ輸入稅ヲ
増加シナケレバナラヌト云フ程ニ、内國ノ石油業者ガ危殆ニ頻スルコト云フ狀態ガアルノデア

リマセウカ、ソレカラ此課稅ノ標準ト云フコトハ一昨年モ私共關稅改正ノ委員ノ一人デ
アリマシタガ、其當時關稅ノ「スタンダード」ニ就テ種々伺ヒタコトガアリマシタガ、關稅ノ
定率ヲ定メル上ニ於テハ内國ニ生産セザルコロノ原料品ハ無稅トスル、原料品デアッ
モ一部ハ内國ニ生産スルモノハ幾分カ輕イ稅ヲ掛ケテ居ル、ソレカラ又奢侈品ハ少シ多
ク掛ケルト云フヤウナコトヲ種々其當時大藏大臣カラ伺ヒテ居リマシタガ、先ヅ我國ノ關
稅定率法ノ大體ノ標準ヲ見テ見ルト二割ト云フヤウナ程度ガ、是ガ「スタンダード」ニナッ
居ルヤウニ、現今ノ關稅定率法ノ上ニ於テハ見ユル、ソレカラ目安ヲ立テ、今申上ゲタ
内國ニ於テ生産スル物ニハ是デケニシナケレバナラヌ、又内國ニ其原料ガ出來ズシテ
全然外國カラ仰グト云フ物ハ無稅ニスルコト云フコトガ出タと思フ、其當時ニハ段々大藏
省デ調查サレタ材料ヲ種々繪ナゲテ說明サレタコトヲ今日モ記憶シテ居リマス、チ
ヨット一例ヲ舉ゲルト、鐵——鐵ハ今協定稅率ニナッテ居ルガ、國定稅率デハ今三割ト
云フコトガ鐵ノ輸入稅率ニナッテ居リマス、此鐵ノ如キモノモ國內ノ需要品デ機械ノ進
歩ヲ幾分カ助ケルト云フ意思モアリマシタガ、現ニ我國ハ國立製造所ニ於テ所謂製鐵
所ニ於テ、鐵ヲ製造シテ居ルガ、年々損ヲ致スカラ關稅改正ノ上ニハ國定稅率ヲ三割
ニシテ置クガ宜カラウト云フコトデ二割ニシテ置クト云フコトデ、要スルニ二割ト云フモノ
ガ標準ニナッテ居ルヤウニ思フ、然ルニ今度ノ原料ト目スベキ原油ニ對シテハ、此三割ト
云フ程度ヲ超エテ五割ニナリマシタガ、ソレハ何カ據リ所ガアルノデアリマセウカ、其當時
ノ政府ノ標準デアアルナレバ内國デ全然出來ナイ原料品デアアルナラ輸入稅ヲ無稅ニスル
コト云フモノニ這入ラナケレバナラヌ、併シ内國ニ於テ一部生産スルモノデアッテ、サウシテ又
原料ヲ海外ノ輸入ニ仰イテ内地ニ於テ製造スルコト云フコトニナッテ居ルカラ、ヤハリ二割
ト云フ程度デ極メレバ多少其内端デナケレバナラヌノデアアルガ、是ニハ特別ノ事情デモ籠
テ居ルノデアリマスカ、ソレデケケ伺ヒテ置キマス、未ダ他ニモアリマスガ餘リ多クナルカラソ
レデケ先キヘ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今荻野君ノ御質問ノ中ニアルモノデ、先回他ノ御
方ノ御質問ニ對シテ御答シタコトガアリマスガ、サウ云フコロハ簡略ニ申上ゲマシテ、大
體ノ御尋ニ付テ御答辯ヲ致シマス、此關稅率ノ改正ハ三十九年ニ於テ全體ヲ行ヒ、
其當時政府ノ考デハ先ヅ是デケノ改正ヲ行ヒテ置ケバ、四十二年ノ條約期限ノ來ル時
マデハ格別手ヲ着ケルヤウナコトハ無イ、斯ウ云フ意思ヲ辯明シテアルガ、今回又候斯
ウ云フ改正案ヲ出シタノハ、ドウ云フコトデアアルカト云フ御質問デ、如何ニモ御質問ノ通り
政府ノ意思ハ唯今御問ノ通りデアリマス、關稅率ハ三十九年ニ於テ特ニ全體ニ互ッ
權衡ヲ得ルヤウニ定メタト考ヘテ居リマスカラ、大體ハ先ヅ動カス考ヘナイノデアリマス、
唯今回既ニ兩院ヲ通過致シマシタ酒、砂糖ノ増稅ノタメニドウシテモ内國稅ヲ増ス以
上ニハ、外國カラ輸入スルコロノ酒、砂糖ノ輸入稅ヲモ増サナケレバ權衡ヲ得ナイト云
フ理由ヲ以テ、既ニ酒類、砂糖類ノ輸入稅ノ改正ヲスルト云フコトハ、御承知ノ通り
是ハ說明スルマデモナク、酒、砂糖ノ増稅ニ伴ッタ必然ノ結果デアリマシテ、是ハ拾置ケ

スト云フコト改正案ノ御協賛ヲ願フタ譯デアル、ソコデ此油ニ付テハドウデアルカ、是ハ一ツ油ニ付テ特殊ノコトノアルトコロヲ申上ケレバ宜シカラウト思フ、油モ關稅ノコトハ先刻狹野君ノ御尋ノ通り、三十九年頃ハ從價ノ三分デアツタガ、段々非常特別稅等ノタメニ今日デハ從價カラ云フト五割ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ此油ノ輸入稅ヲ二十年九分ノ改正ノトキニ手ヲ着ケズニ置イテ今日何カ思出シタ如クニ改正案ヲ提出シタト云フ御疑ガアルカ知レマセヌガ、油ノ輸入稅ニ付テハ三十九年定率法ノ改正ノトキ既ニ當局者ハ多少ノ考ガアツテ、其當時カライロノ研究シテ居タノデアリマス、併シ其當時ハ原油ト云フヤウナモノハ未ダ少シモ日本ニ輸入シテ居ラナイノデアリマス、ソレ故ニ原油ノ輸入稅ヲ極メマスニ當ッテハドウ云フ性質ノモノデ、原油カラドウ云フ油ガ出ルモノカト云フコトガ能ク分リマセヌ、其分ラヌモノヲ凡ソ此位ノ率ヲ極メタラ宜カラウト云フコトハ頗ル空ノ話デアリマスカラ、暫ク是ハ十分ニ研究スルガ宜イト云フコトデ、當時從價ニ割ト定メタノガ、是ガモウ十分研究シタ結果動クベカラザル——當分動カサナイトコロノ稅率デアアル、ト斯ウハ當時信ジテ居ラナカッタデアアル、其以來段々ト油ノコトヲ研究致シマシテ進ンデ參リマス同時ニ、遂ニ外國ノ原油ガ輸入シテ來ル、サウ云フ形勢ニ段々進ンデ參ッタメニ、政府ニ於キマシテハ是ハドウシテモ十分ナル研究ヲシテ適當ナル稅率ヲ定メナケレバナラヌト云フコトデ、特ニ亞米利加ノ原油ヲ研究ニ入ヲ出シマシテ、又「スマトラ」トカ「ボルネオ」トカ云フ方面ノ油ノ研究ニモ入ヲ出シマシテ、外國ノ原油ヲ研究シマスト同時ニ、内地ノ石油モ調査出來ル限リ致シマシタ、ソコデ一方ニ外國カラハ既ニ物ガ來タ、又外國ノ油モ研究シ、内地ノ石油モ調査シタ、ソコデ能クノ考ヘテ見マス、ドウモ從價ノ一割ト云フモノニシテ置キマシテハ石油ノ輸入稅ト權衡ヲ失フ、詰リ原油ノ輸入稅ガ廉過ギル、其結果ドウナルカト云フト、石油ノ代リニ原油ガ輸入サレルデ、内地ニ工業ガ起ルト云フコトハソレハ好イ現象デアリマシテ、内地ニ外國ノ原料ヲ入レテ製造業ヲ起スト云フコトハ、至極結構デアリマス、私共決シテソレヲ惡イトハ思ヒマセヌガ、差當リ直接ニ此關稅ノ上カラ見ルト、石油ニ依ッテ今日マデ得テ居ルトコロノ六七百萬ノ收入ト云フモノガ、大部分侵サレテシマフ、斯ウ云フ結果ヲ第一生シマス、是ハ今日ノ時節柄容易デナイコトデ、一方ニハ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フタメニ増稅マデモスルト云フ時代ニ於テ、關稅ノ收入ノ上ニ左様ナ大キナ穴ノ明クコトヲ傍觀シテ居ル譯ニイカナイト云フコトガ、モウ一ツハ關稅ノ收入ガ此儘ニ致シテ置キマスレバ、大ナル穴ガ明クノミナラヌ今日ノ原油ノ輸入稅ヲ二割ニ据ヘテ置キマス、先刻モ申シマス通り石油ノ輸入稅「ガロン」九十六錢ト云フノト大變ナ釣合ヲ失ッテ居リマスカラ、外國ノ原油ガ非常ニ廉ク日本ニ入ッテ來ル、デ内地ノ原油ハドウデアルカト云フト、内地ノ原油ハ御承知ノ通り今日デハ日本テ消費シマス原油ノ半分以上先ヅハ分ト云ヒマセウカ、六分以上モ外國ノ油デモツテ居ルノデアリマスカラ、内地ノ油ト云フモノハ常ニ外國ノ油ニ總テ支配サレテ居ル、値段デモ何デモ詰リ外國ノ油ニ依ッテ内地ノ油ノ値段ガ定マルト云フ有様ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フコロニ從價ニ割ト儘ニ据ヘテ置キマス、内地ノ石油業ト云フモノガ大ナル打撃ヲ受ケル、因テ少クモ内外ノ原油ノ値段ト云フモノハ對等ノ地位ニマデスル必要ガアル、即チ今日内地ノ原油ガ一石假リニ五圓ト致シマスレバ、外國カラ入ッテ來ルトコロノ原油モ橫濱ニ揚ルトキニ五圓位ノ値段ニナツテ

行キヤウニシタラ宜カラウ、サウスレバ雙方ガ同ジモノ、同ジ原料ヲ土臺トシテ製造業ヲヤリマスレバ、内地ノ石油業モ立ッテ往キ、外國カラ原油ヲ輸入シテ製造業ヲヤリマシテモ、ソレモ成立ッテ往ク、兩方事業ガ成立ッテ往クコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フトコロデ此改正ノ率ヲ定メタノデアリマス、此改正ヲシナケレバナラヌ、他ノ物品ノ稅率ハ据ヘテ置クニモ拘ハラズ、礦油殊ニ原油ニ付テ此際ドウシテモ早ク改正ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツタノハ先刻申上デマスヤウナ主ナル理由ハ一ツノ理由デアリマス、關稅ノ收入ヲ減ジテハナラヌト云フコト、モウ一ツハ内地ノ產業ガ今日全國ノ消費ノ三分ノ一以上モ供給シテ居ル、サウ云フ大キナ事業ハ是ヲ其儘ニ捨テ、置クト云フコトハ出來ナイ、斯ウ云フ主意カラ特ニ此礦油ヲ引拔キマシテ關稅率ノ改正ト云フコトヲ發案致シタ次第デアリマス、ソレカラ若シ此改正ヲスルトシテモ稅率ガ突飛ニ上ルヤウデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、成程今日ノ突飛ニ上ル其結果ガ經濟界ニ惡影響ヲ與フルコトハナイカ、平素當局者ノ言フトコロニ反スルデハナイカト云フ御問デアリマスガ、成程二割ト云フモノガ今回ノ四十三錢トナリマス五割ヨリモツト上リマス、七割以上ニナル（「八割々々」ト呼フ者アリ）サウ云フコトヲ御覽ニナリマス、如何ニモソレハ突飛ト申サナケレバナラヌノデアリマス、併シ私共ノ考ニハ今日ハ外國ノ原油ノ輸入ト云フモノハ參考書ニモ差上ゲデアリマスガ、誠ニマダ少イ、漸ク昨年ノ十一月ニ入ッタノ第一回デアアル、其前少シ入ッタノモアリマスガ、ソレハ見本ニ入レタ位ノモノデアアル、普通ノ製造業ノ原料トシテ輸入シタノハ昨年ノ暮ニ一回、今年ノ一月九日ニ入ッタト、此二回デアアル、又此原油ヲ外國カラ入レテ製造業ヲヤルト云フコトガ、到處ニ行ハレテ、製油事業ガ各地ニ起ッテ、サウシテ製造サレタ油ガ内地ノ消費ニ供セラル、トカ、又外國ニ出ルトカ云フヤウナ風ニ秩序ノ立ッタ基礎ノ立ッタ事業トナツテ、今日各地ニ行ハレテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、寧ろ輸入稅ヲ變ヘルナラバデス、ヒドク產業ニ影響ヲ與ヘナイヤウナ時機ニ於テ、即チ今日ノ時機ニ於テ本來申シマシタナラバ今日ヨリマダ早ク斯ウ云フコトハ定メタガ宜カッタと思フデス、ケレドモソレハ先刻來申上デマス通り研究ガ足ラナカッタ研究ガマダ十分盡サナカッタカラ已ムヲ得ヌノデアリマス、デ率ノ突飛ダト云フ點ヲ以テ御論ジニナリマス、サウ云フコトニナリマスガ、實際今日ニ於テ此改正ヲヤッタトコロガ非常ニヒドク之ニ依ッテ影響ヲ受ケルト云フ產業ガマダ今日ハ起ッテ居ナイ時機デアリマスカラ、產業ノ影響ト云フコトハ、私ハサウヒドイモノデハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ内地ノ石油產業ニ如何ニ打撃ヲ與ヘルカ、斯ウ云フコトハ第一ノ質問ニ對シテ略ク御答ヲシテアルヤウデアリマス、詰リ今日ノ從價ニ割ト致シテ置クト、外國カラ這入ルトコロノ原油ハ一石三圓十一錢バカリニ當リマス、ソレカラ内地ノ原油ハドウ位ノ價格デアアルカト申シマス、是ハ山カラ掘出ス實費デアアリマセヌ、詰リ今日石油ノ產地デ取引サレテ居ル價格、之ヲ申スノデアリマスガ、其價格ハ先ヅ中等ノモノデ、越後ノ東山ノ原油ハ三十九年ニ於テ一石四圓七十三錢五厘、一方ハ四圓七十三錢五厘ノ原油ヲ使ッテ、一方ハ三圓十一錢、斯ウ云フコトデハ此儘ニ置ケバ其結果ハ如何ニナルカト云フコトハ詳シク申シマセヌデモ御了解ニナルデアラウト思ヒマス

○狹野芳藏君 實費トハ 實費ト云フノハ淺イ處カラ出ルノト、深イ處カラ出ルノ

トテ、手掘ルノ機械ヲ掘ルト云フ種々方法アリマス、私共是ガ確實ナル一石ノ生産費アルト云フコトハ、營業者ニ就テ聞キマスケレドモ、ドウモ十分信ヲ置ケ材料ヲ得マセヌ、ソレカラ間稅率ノ標準ハ先刻御尋ニナリマシタガ、大體御質問ノ通りヤウナ趣意當局者ハ居リマス、原料ニシテ内地生産シナイモノハ最モ輕イ稅若クハ無稅トシ、多少内地生産スルモノニ付テハ相當ナル稅ヲ課スル、又奢侈品ニ付テハ重イ稅ヲ課スト云フコトハ大體ニ於テ政府ノ考ハ今日雖モ變リマセヌ、ソレデ國家定稅率ノ高イノモ低イノモアリマスガ、中等ノ處ハヤハリ二割位デアリマス、是ヨリ以上高イモノハ「アルコホル」デアルトカ、其他ノ酒類「サツカリ」トカ、是ハ特別ノモノデアリマス、イロ／＼高イモノハ澤山アリマスガ、中間ヲ申シタナラバ三割位ガ相當デアリマス、六割七割ハ甚シイ負擔ノヤウデアルト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、前申シマス通り内外產ノ鈎合ヲ得サセルヤウニト云フコトカラ起ツタデアリマス、一概ニ是ハ一部内地生産スルモノデアルカラ三割位ノ見當ガ適當デアラウト云フ譯ニ往キマセヌ、内外ノ鈎合ヲ得ルニハ是位マデ引上ゲルノガ必要デアラウ、斯ウ云フ趣意ヲ立案致シタデアリマス

○荻野芳藏君 唯今ノ御説明ノ中ニアリマスル原油價格ノ内外ノ比較、其他ノ數字ニ互ル點ニ付テハ諸君カラ段々質問モアルデアラウ、思ヒマスカラ、私ハ遠慮申上ケテ後ニ讓ルコトニ致シテ、大體ニ付テ方針ノアルトコロヲ御聞キ申タイ、元來關稅定率ノ改正ニ付テハ要點ハ、第一石油ハ國民ノ必需品デアリマスカラ、價格ノ騰ルコトハ國民ノタメニ非常ナ痛苦ニナル、此利害ト云フモノヲ一面ニ於テ講究シナケレバナラナイ、ソレカラ其次ハ内地ノ生産品ニ付テ減收ヲスルモノニ付テハ講究シナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ二段三段ニナル要點ニ付テ利害比較、斯ウ云フ事柄ガ本問題ヲ解決スル要點ニナラウト思ヒマス、其要點トスルコトハ國民ノ必需品デアルタメニ成ルベク政府ハ負擔ヲ輕減ナラシメルト云フ主義、是ハ其通りデナケレバナラナイと思フ、此上ニ於テ石油消費稅ト云フモノガ、當年既ニ法律案トナシテ居ルト云フコトデアルガ、現今ノ石油ノ價格ヲ上サナイヤウニシテ、國民ノ負擔消費稅ノタメニ苦シメナイヤウニシナケレバナラナイと思フコトハ、當局者トシテ採ラナケレバナラナイコト、思フ、然ルニ唯今ノ御説明デハ、我國ノ石油ハ三分ノ二ハ海外ニ輸入ヲ仰グト云フコトデアル、海外ノ輸入ヲ仰グト云フコトニナルト、内地ノ生産ノ鈎合ヲ考ヘナケレバナラナイ、其海外ノ輸入原料ヲ以テ國民ノ必需品ヲ低廉ニ供給スルコト云フ事柄モヤハリ講究スベキ重大ナ問題デアル、而シテ此點ニ於テ其石油ハ遠キコトハ採掘キマシテ、明治三十一年頃ニ出サレタ表ニ依ッテ見ルト一圓六錢四厘トアル、其二圓ノモノガ其後段々關稅ノ増加ニ伴ッテ結局五割ノ増加ニナッテ三圓五六錢ニナッタ、一圓ノモノガ稅ノ増加モアリ、又物價騰貴等ニモ依ッテデアリマセウガ、三圓五六錢ニナッタ、然ルニ今度ノ消費稅一箱二十錢増加スルト云フノデアリマスカラ、先ヅ三圓五十錢カラ七十錢、斯ウ云フ風ニ丁度十年前ニ一圓ノモノガ唯今デハ三圓七八十錢ニモナルト云フヤウニ、價格ガ騰貴シテ居ル、デ三十九年ノ關稅定率法ノ改正ノトキニ若槻次官——其時分ニハ櫻井君モ丁度御列席デアリマシタガ、若槻次官ノ委員會ニ於ケル石油ノ關稅ト云フコトコトデ説明ガアリ、其說明ニ依ルト此處ニ筆記ハ持ッテ居リマセヌガ、御調ニナッタラ分カラウト思ヒマスガ、其時ノ說明ハ此關稅定率法ヲ五割増シタト云フコトニ付テ、國民ノ必需品デアルカラ成ルベク廉クセバナラナイと思フ

御議論モアルガ、併シ國庫ノ歲入ノ上デハ負擔ノ一般ニ涉ルト云フ見解カラ消費稅トシタラ宜カラウト云フ考デ、高ク之ヲシタデアリマス、斯ウ云フ御答辯ガアッテ、サウスルト其時分ニ關稅定率法ニ於テ既ニ石油ト云フモノハ消費稅ノ意味ヲ以テ計上サレタ率ガ出タノデアッテ、今度ノ消費稅ト云フモノハ其實云ヘバ、形式デ云ヘバ、新稅デアリマス、其點カラ云フト石油消費稅ノ増加ト云フコトハ、國民ノ負擔ガソレダケ又増スト云ッテモ宜イ、ソレカラモウ一ツ申シテ見ルナラバ、大藏省ノ中デ、何トカ稅法整理會トカ云フモノヲ設ケテ、其印刷物ガアリマス、其中ニ石油消費稅ノ新稅ガ掲ゲラレテ、何デモ外國ノ方ノ石油ハ課稅ヲシナイ、内地ノ石油ニ一圓ヲ課稅スルト云フ、斯ウ云フ草案ニナッテ居ル、サウスルトソレハ昨年ノコトデアリマスカラ、昨年アタリ御寄リニナッテ御調ニナッタトキニハ、内地ノ石油ニ消費稅ヲ一圓掛ケテ、外國油ニハ掛ケナイ、斯ウ云フコトニ極ッテ居ル、此理由ヲ私ガ先ヅ推測シテ見ルト、丁度三十九年ニ於テ、此關稅定率法ノ改正ノ場合ニ、若槻次官ハ此關稅ハ消費稅ヲ意味シテ居ルト云フコトデアッタカラ、外國カラ輸入スルモノニハ消費稅ヲ掛ケテハイケナイ、内地ノ石油ノ分ニハ消費稅ヲ掛ケタ方ガ宜シイト云フコトデ、内地產トノ率ガ付テ居ッタカト思フデアリマスガ、其御意見ノ結果ドウカト云フト、外國油ニモ内地油ニモ、共ニ一石一圓ト云フ課稅ニナッテ居ル、サウスルト此一圓ト云フモノハ、元來政府ニ於テハ政府者ハ外國ニハ消費稅ヲ掛ケナイト云フノヲ、掛ケタデアリマスカラ、ソレダケ此内地ノ石油ト云フモノハ、一度一石一圓ト云フモノハ保護ヲ受ケタヤウニナルデアリマス、消費稅ニ於テ——斯ウ云フ風デアルトシテ見ルト、國民ハ一方ニ於テ此石油消費稅ガ上ッテ來テ、尙其上ニ今度ノ課稅ニ於テ原油ノ輸入稅ガ上ルト云フコトニナッテ來ルト云フト、國民ノ全體ガ一生產物ノ唯利益ノミヲ目的トスルガタメニ、全般ノ總テノ人ガ迷惑スルト云フコトニナッテ、殆ド一種ノ増稅ニナルデアリマスガ、此ノ如ク國民ノ必需品デアル見地カラ、成ルベク負擔ヲ輕減ナラシムルト云フ趣意ト違ッテ、何ダカ收入ニ重キヲ置カレヤウナモノニナリマスガ、此點ニ付テ大體ノ方針ヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ序デニモウ一ツ短カインデアスリマスガ、今ノ御説明中ニ内地ノ生産品ヲ保護スル、斯ウ云フコトニ付テ段々話ガアリマシタガ、此點ニ付テハ若シ御調ニナッテ居ルナラバ、内地ノ生産品ト云フ上ニ於テ、今重ナル石油業者ノ營業狀態ヲ參考書トシテ、御見セラ願ヒタイと思フデアリマス、ソレカラ此内地ノ生産品ノ保護ト云フ點ニ於テ、斯ウ云フ殊ニ石油ノ此事業ト云フモノハ、此ノ如ク保護シタ結果、段々發達スルデアラウカト云フコトニ付テ、一ツ御考ヲ聞イテ見タイと思フデアリマスガ、元來生産品ト云フモノニ付テモ限リガアリマスカラ、サウ保護シタカトラト云フデ無暗ニ増加スルモノデバナナイ、例ヘバ我國ノ砂糖ノ如キモノデアリマス、程度ガアル、ソレデ私共ニ今此處ニアルトコロノ此營業者ノ一部カラ寄越シタコロノ印刷物ニ依ルト、ドウモ内地ノ石油ト云フモノハ著シク生産ガ發達スル上ニ於テハ、見込ノナイヤウニ是ニ書イタル、併ナガラ此唯數字ノ統計ダケデ往クト、最近五箇年間ノ數字デアリマスガ、三十六年ヨリ四十年マデノ統計ガ上ゲタル、是ニ依ッテ見ルト最近ノ三十八年ニハ百二十萬石ノモノガ三十九年ニハ百五十萬石ニナッテ、四十年ニハ百八十萬石ニナル、斯ウ云フ風ニナッテ、非常ニ上ッテ居ルヤウデアリマスガ、其上ッテ内容ニ付テ見ルト新津ノ油ガ上ッテ居ルダケテ、外ノ油ノ一向上ッテ居ラナイ、特ニ新津ニバカリニ

十六年三十七年三十八年三十九年四十一年約百萬石ニテ居ル、又上ツタト云フノガ全ク石油ノ數字ノ上ニ於テ全體カラ上ツタ如ク見ユルガ、此新津ノ油ハ燈油ト云フモノヲ製造スルニ不適當デ、重油ガ多イノデアリマスカラ、燈油ノ原料トシテハ不適當ナモノデアアル、其モノデ上ツタカラト云フ故ヲ以テ、燈油ト云フモノニ關係ヲ持ツト打算シテ、サウシテ此内地ノ石油ガ餘程是カラ發達スル餘地ガアルト云フヤウニ云フノハ少シ誤リデアルト思フ、此點ニ付テ伺ヒタイト云フノデアリマス、マダ外ニモイロノデアリマスカレドモ、大體……

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 續イテノ御質問ニ御答致シマスガ、石油ハ一般ノ需要品デアリマスカラニ成ルベク値段ヲ廉クスルヤウニ云フコトハ私共モ御同感デアアルノデス、ソレデ現行ノ石油ノ關稅ガ定マリマスツキニ政府ヨリ辯明ヲ致シマシテ趣意ハ、唯今ヤハリ狹野君ノ御尋ノ通りデアリマシテ、詰リ海關稅ハ是ハ謂ハバ消費稅デアアルノデス、石油ニ限ラズ之ヲ廣ク云ヒマシタナラバ消費稅ト謂フベキモノデアラウト思フ、サウシテ石油ノ如キ一般ノ需要品ノ高クナラヌヤウニ云フコトハ、一般ノ經濟ノ上カラ至極望マシイコトデ、政府トシテモサウ云フ考ヲ持ツテ萬般ノコトヲヤテ居ルコトハ今更申スマデモナイコトデアリマスガ、石油ガ關稅ノ作用デ他ノ一般ノ生活ノ必要品ヨリモ特ニ高クナツタカト斯ウ申シマスツキニ、私共ノ見ルコトコロデハサウデナイト思フ、此處ニ日用品ノ小賣相場ノ比較ヲチヨット御參考ニ申シマス、二十九年ニ白米ガ一石十二圓八十錢、ソレガ四十年ニ至ツテハ二十一圓五十錢、此騰貴ノ割合ハ七割五歩七厘デアリマス、石油ハ二十九年ニ一罐二圓三十五錢五厘、是ハ小賣デゴザイマス、四十年ニ於テハ三圓五十錢、此騰貴ノ割合ハ四割八歩八厘、ソレカラ漬物ノ如キハ六割、醬油ガ五割、小豆ガ五割、小麦ガ六割ト云フヤウナ風ニ騰貴シテ居リマス、一々ハ申シマセヌガ、ソレデ石油ノ割リ見マス、サウ他ノ日用品ノ割合ニ較ベルト著シイトハ申サレマセヌ、サウ云フ風デアリマスカラ、日用品ガ一般ニ騰貴スルコトハ誠ニ望マシクナイコトデアリマスガ、石油ガ特ニ關稅ノ作用デ他ノ日用品ノ騰貴ノ割合ヨリ餘計ニ騰貴スルコトハ云フコトニハ私共ハ見マセヌ、ソレデモウツ御尋ニ、政府ハ曩ニ稅法ノ調査ヲスルトキニ新シイ財源トシテ石油ノ消費稅ト云フモノヲ計畫シタ、ソレニ據ルト内地ノ石油ニミ課スルト云フ案デアツタガ、今日ハ内外共ニ課スルヤウニナツタ、サウシテ其内地ノミ一石一圓ヲ課スト云フ考ノ付イタノハ、内地ノ石油ハ一石一圓位ノ課稅ヲシテモ一向産業上ニ影響ガナイト云フ考デ當時アツタデアラウ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、吾々モ當時石油ノ消費稅ヲ研究致シマシタツキハ爰ニドウシテモ石油ノ消費稅ヲ起シテ新規ノ財源ヲ求メナケレバナラヌト云フツキニ追ツテ考ヘタノヂヤナイノデアリマシテ、先ツ新財源トシタラ、ドンナモノガアラウカト云フコトノ研究ヲヤツタニ過ギナイ、ソレガ今日段々財政上ノ要求カラ是非新財源ヲ要スルコトニナツテ、石油ノ消費稅カラモ相當ナル稅額ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトニナツタメニ、詰リ内地ハ掛ケテ即チ石油ノ消費高ノ六分通リハ外國カラ來ルノデアリマスカラ、其方ニ掛ケナケレバ一向石油ノ消費稅ト云フモノガ少ナイ、相當ナル收入ヲ得ナケレバナラヌト云フコトコロカ内外共ニ掛ケタ、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレデ既ニ確定シタコロノ石油消費稅ト云フモノハ是ハ増稅デアリマスカラ、無論ソレダケハ石油ノ値段ガ騰リマセウガ是ハ已ムヲ得ナイ、併シ原油ノ稅ガ騰タト云フテ、ソレ

ガタメニ私共ノ考デハ石油ノ値ガ騰ルトハドウシテモナラヌト思フ、十瓦九十六錢ト云フ稅金ヲ動カシマシテ、之ヲ九十六錢以上ニ致シタナラバ、ソレハモウ石油ノ値ガ又騰ルト云フコトニナルガ、十瓦九十六錢ト云フ稅ハ一向動カナイ、詰リ外國ノ油ノ値段ガ定マルノモ、內國ノ油ノ定マルノモ、專ラ此十瓦九十六錢ト云フ土臺カラ割出シテ定マルノデアリマス、原油ノ從價ニ割ト云フモノヲ或程度マデ引上ゲタトコロガ、決シテ是ガタメニ一般消費ナル原油ガ更ニ又騰リ、石油消費稅以外ニ又値ガ騰ルト云フコトハ決シテ無イト思ウテ居リマス、ソレカラ内地ノ石油業ノ實況ト云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ例ヘバ石油會社ノ損得ハドンナ風デアアルカ、斯ウ云フコトデアリマセウガ、是ハ唯今此處ニ調ヲ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ内地ノ石油業ノ發達ノ見込ハドウカト云フコトデアリマスガ、之モ唯今御問ニナツタヤウナコトデ、二十六年カラ四十年マデノ產額ハ御問ノ通りデアルト考ヘテ居リマス、ソレデ此内地四十年ガ百七十萬——百八十萬石程ニナツテ居リマスガ、大ニ發達シタト云フノハ御問ノ通りヤハリ新津ノ油デアリマス、ソレデ新津ノ油ガ發達シタト云フテ、燈油ガ一向餘計ニ產出シナイト云フコトデアアルガ、ソコハ「ランブ」ノ燈火ニ適當シナイカラト云フ御尋デアリマスガ、是ハ私ノ聞イテ居ルコトコロデハ、新津ノ油ハ成程近來マデハ十分ナル發達ヲ見ナカッタ、ソレハ事實デアリマス、ソレガ近年大ニ起ツテ參ツタノハ新津ノ油ガ燈明ニ適シナイヨリ、アノ油ヲ蒸溜シテ而シテ「ランブ」ノ口金ヲ改良シタ、ソレニ依ルト今マデハ「ランブ」ニ使ツテハ煙ガ澤山出テ宜クナカッタ、十分使ヘナカッタ油ガ、「ランブ」ノ口金ヲ改良ト云フコトガ研究サレタメニ餘程所謂比較的重油モ燈油ニ使フコトガ出來ルヤウニナツタ、サウ云フコトカラ新津ノ油ガ大ニ發達シテ來タト云フコトガ實際デアリマス、サウ云フ風デアリマスカラ、新津ノ油ノ原油ノ生産額ガ殖エタト云フコトガ全ク其燈油ノ増加スルト云フコトニナラナイ、新津ノ油ハ燃料ニ焚イテシマフカ或ハ何カ器械ニテモ使フヨリ外使用法ガナイト云フモノデハナイノデアツテ、今「ランブ」ノ口金ヲ改良法ニ依ツテ今迄「ランブ」ニ使ヘナイヤウナ油ガ使ヘルヤウニナツタト云フコトカラ、新津ノ油ガ頭ヲ擡ゲテ來タノデ、之ヲ以テ燈油ノ生産額ニ影響ヲ持タナイト云フコトハナイ、大ニ影響ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、ソレハ新津ノ例デアリマスガ、尙東山山西トカ云フ地方ノ外ニ、近年ハ直江津ノ附近ニ於テモ新シイ井戸ガ出來テ、餘程多量ノ油ヲ出スト云フコトガ分ツタデアリマス、斯ウ云フコトモ報告ヲ得テ居リマス、ソレ等カラ推シテ最近四五年間ノ形勢ヲ見ルト、是迄發達ノ狀況ヲ現ハシテ居リマス、是等カラ推察スレバ内地ノ原油ト云フモノガ將來發達ノ見込ガ無イト云フコトハ申サレヌト思ヒマス、尙新潟縣以外ニ於テモ、秋田、青森、北海道、遠クハ臺灣、ソレカラ遠州等ノ地方ニ於テモ今試掘ヲヤツテ居リマス、是ハ今試掘中デアリマスカラ將來ドウナルト云フコトハ分リマセヌガ、臺灣ノコトハ先頃臺灣總督府ノ人ニ聞キマシタガ、今ヤツテ居ルノハ極ク淺イ井戸デ試ミテ居ル、ソレ故ニ十分ナ結果ハマダ見エナイケレドモ益ノヲ深く掘ツテ往ケバ、將來ニ於テ隨分有望ナルモノト云フ技術者ハ見込ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマス、併ナガラ是ハ見込デアリマスカラ此處ニ確カナルコトヲ申スコトハ出來マセヌガ、大體サウ云フヤウナ譯デ、内地ノ石油ノ生産ガ全ク見込ガ無イト悲觀スベキモノデハナカラウト考ヘテ居リマス

○橋本久太郎君 私ハ大分缺席シテ居ッタノデ、或ハ御尋ニナツタカモ知レマセヌガ、チ

ヨット同ヒマス、昨日來諸君ノ御質問ニ依テ私モ沈黙ノ間ニ諒承シタコトガアリマスガ、併シ何分ニモ政府委員ノ答辯ニ於テ甚ダ要領ヲ得ヌコトガ多イウニ思ヒマス、故ニ今一應承リタイノデアリマスガ、政府委員ノ昨日來ノ答辯ニ依ルト、現在ノ儘ニ關稅ヲ置クト、即チ原油ハ二割デアル、又一方ノ燈油ハ五割デアル、此三割ノ違ヒト云フモノハ原油ヲ此儘ニ置クト、燈油ガ壓迫サレハ輸入ガ減ズルト昨日來申サレマスガ、成程唯數字ノ上カラ席上テ答辯スルトサウ見エル、廉イ物ニ高イ物ガ壓サレラカ減ズルヤウニ見エルガ、併ナガラ又一方カラ考ヘルト燈油ガ壓サレル程原油ガ餘計這入ッテ來ルト云フコトハ掩フベカラザル事實デアル、サウシテ内地テ燈油ヲ製造スルコトガ一面ニ起ッテ來ル、サウスルト其結果海關稅ト云フモノハ一面ニハ殖エテ來ナケレバナラヌ理ニナッテ來ル、唯單三原油ガ殖エルノミナラズ、藥品、「ブリキ」板、斯ウ云フヤウナモノモ積算シテ見ナイト精密ナ統計ノ分ル譯ハナイ、然ルニ政府委員ハソレ等ノ統計ヲ未ダ御示シニナラヌノデアル、況ヤ内地ニ於テ燈油ヲ製造シテコレヨリ起ルトコロノ製造稅モ所得稅モ積算シナケレバナラヌ、即チ是等ノ稅金ガ政府ノ方ニ這入ッテ來ルノデアル、是等ノ點ニ付テハ曖昧ナ答辯ヲ要領ヲ得マセヌカラ是ヲハッキリ承リタイト思フ、且又昨日神崎君ガ質問セラレタ油ノ生産費ノコトニ付今日ニ至ルモ……

○委員長(野田卯太郎君) ソレハ荻野君ノ質問ニ對スル答辯ヲ説明ガ濟シテ居ル

○橋本久太郎君 然ラバ後ニ荻野君ニ伺ヒマスガ、是等ニ付テハ私モ今調査中デアリマスガ、今御尋シタ點ニ付テ明確ニ御答辯アランコトヲ願ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第一一回ノトキニ神崎君ノ御問ニ御答シタコトガアリマスガ、唯今橋本君カラ又御問デアリマスガ、私ハ全ク石油ノ稅ガ無クナルト云フヤウナコトハ御答シマセヌ、詰リ差額ガ無クナルト云フコトヲ申シタノデアリマス、詰リ唯今ハ六百萬函ノ石油ガ這入ッテ居ル、ソレカラ上ルトコロノ稅ガ六百萬七十三萬幾ラトナル、其代リニ假リニ原油ガ這入ッテ來ルトスレバ、原油ノ稅ガ二割デアルカラ、ズツ減ッテシマフ、原油ノ中假リニ四割五分ガ石油ニナルト云フ計算ヲシテ見ルト、前回ニモ御答シマシタガ、差引收入ガ五百万圓バカリ減ル斯ウ云フコトヲ申シタノデアリマス、神崎君ノ御問ニモ内地テ石油ヲ製造スレバ即チ「ブリキ」罐ノ輸入モ起ララウト云フ御尋シタガ、ソレモ其通りデアリマス、石油罐ノ原料トナル「ブリキ」板ノ稅ノ如キハ今日協定ガアッテ餘程低イノデス、假リニ若干ノ收入ガアルト致シマシテモ、ナカ／＼五百万圓ト云フ計算ニハ到底匹敵シナイカラ、其事ヲ大體御答シタノデアリマス、ソレカラ尙先刻荻野君ノ御問ニモ御答致シマシタガ、詰リ外國カラ來ル石油ハ横濱テ幾ラニナルカト云ヘバ三圓十一錢——從價ニ割ノ關稅ヲ加ヘテ向フカラ持ッテ來ル運賃、保險料、原價等ヲ合セテ三圓十一錢ニナリマス、サウシテ越後地方デハドウナルカト云ヘバ年々ニ依ッテ高イ廉イハアリマスガ、二十九年ノ平均ニ依レバ四圓七十三錢五厘ト云フ計算ニナッテ居リマス、是ハ先刻モ御斷リヲシテ置キマシタガ、生産費ノ實費ト云フモノデハナイ、即チ越後地方ニ於テモ石油業者ト云フモノハ皆自分デ井戸ヲ掘ッテ、自分ノ井戸デ出タ油ヲ製造スル者バカリデハナイ、是ハ私が申サヌモ石油地方ノ御方ハ御承知デアリマセウガ、或人ハ原油ヲ掘ルコトバカリヲ營業トシテ居ル、又或人ハ他人ノ掘ッタ原料ヲ自分ノ製造所デ製造シテ居ル者モアリマスカラ、原油ノ一石四圓七十三錢ト云フ相場ハ決シテ製造業者ガ

勝手ニ自由自在ニ定メラレモノデアリマス、即チ石油ハ掘ル人ト、ソレヲ買ッテ製造スル人ト、兩方ノ需要供給ノ關係デ相場ガ立ツ、之ヲ取ッテ内外ノ比較ヲスルコトハ決シテ不相當デハナイノデ、必シモ生産實費ト比較スル必要ハナイト考ヘテ、先刻御答シタ次第デアリマス

○神崎東藏君 此改正ハ内地ノ石油ヲ一面ニ於テ保護スルト云フコトガ理由ニナッテ居ルガ、保護ト云フハ原油採掘業者ヲ保護スル意味カ、又ハ石油製造人即チ原油ニ依リ燈油、重油、揮發油ヲ製造スル者ヲ保護スル意味カ、分解カ立ッテ居ラヌト思フ、假リニ燈油業者即チ原油ヲ燈油製造ヲヤル者ヲ保護スルモノデアルトシテ、而シテ日本ノ石油業者ガ石油採掘業者ト、石油製造業者ト、立派ニ分業セラレテ居ルト云フコトデアラナラバ、或ハ政府委員ノ云フ如ク、四圓某ト云フコトデアラカラ、原油ノ高メテ燈油業者ヲ保護スルガ必要ト云フコトニナッテ來ルカ知ラヌガ、ケレドモ是ハ理ニ於テ合ハヌ話デ、燈油業者ヲ保護スル上カラ云ヘバ、原油ヲ廉クスルガ宜イ譯デアル、又別ニ原油業者ヲ保護スルト云フ側カラ見ルト、外國原油ノ輸入稅ヲ増スナラバ、原油業者ガ幾許ノ金ヲ費シテ原油ヲ得ルカラ調査シナケレバナラヌト思フ、政府委員ハ調査シタコトハナイ、分ラヌト云フケレドモ、越後ノ當業者ノ重ナル者、即チ寶田、日本石油ノ公課狀ヲ見レバ、明カニ分ルノデアル、寶田デ云ヘバ、原油ノ價格ガ二十九年ノ上半期デ三圓四十九錢六厘ト見テ居ル、ソレニ對シ工場ノ再製ノ諸費用ガ一圓八錢八厘四毛トナッテ居ル、是ハ多少間違ッテ居ルカ知ラヌガ、非常ノ違ヒハナイ、即チ此差引ノ差ガ利益ニナル、其結果四割二分ノ利益トナッテ居ル、サウスルト原油ハ非常ニ廉イ生産費デ採掘サレテ居ルニ相違ナイ、シテ見ルト横濱ニ持ッテ來ル價ガ高ケレバ、過日御尋シタ通り別段稅ヲ増シテ此當業者ヲ苦メル必要ハアルマイト云フノデアラガ、生産費ハ分ラヌ、調べテナイト云フノハ、政府委員ノ不親切ナル調査ト云ハナケレバナラヌ、ソレデ調査サレタ根柢ガ、燈油業者ヲ保護スルノデアラカ、原油業者ヲ保護スルノデアラカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ關稅ガ原油ナラ從價ニ割デアルカラ、此結果ハ五百万圓ノ減收ニナルト云フコトデアラガ、原油ノ値段ガ政府カラ參ッテ居ル書面ニ依ルト、四十年ハ廉イ、從ッテ稅モ廉イコトニナルガ、其後「カリフォルニア」地方ノ原油ノ相場ガ上ッテ居ル、今日デハ四十年中ニ輸入シタ如キ廉イ値デハ輸入ガ出來ナイト云フコトハ御調査ニナッテ居ルヤ否ヤ、又運賃ハ海運業ガ發達シテモ年々騰ルモノデ、ヤハリ横濱ニ來ルモノノ、海關稅ハ殖エル、ソレヲ四十年ニ僅ニ見本のニ來タモノヲ以テ相場ヲ立ッテ、十年、二十年先ヲ推スト云フハ間違ッテ居リハセヌカ、之モ伺ヒタイ、ソレカラ原油カラ取レル油ガ四割五分ト云フケレドモ、ソレハドウ云フ油カラ取レルノデ、今日迄サウ云フモノガ這入ッテ居ルヤ否ヤ、私ノ聞ク所、否ナ調査スル所ニ依ルト、亞米利加方面カラ來ル原油ハ「カリフォルニア」ヨリ來ル外ハ途ガナイガ、「カリフォルニア」ノ原油ハ越後ノ寶田、日本石油デ使ッテ居ル原油ヨリ質ガ惡ク四割五分取レルモノデナイ、是ハ當業者カラ聞イタノデアハナイ、外務省ノ當局者カラ聽イタノデ、其調査ニ依ルト「カリフォルニア」ノ原油ハ漸ク二割少シ餘計取レル位デ、トモモ四割五分ハ取レナイ、ソレデ燈油ノ取レル量ガ少ナイデテ原油ヲ餘計入レナケレバ一般ノ需要ヲ充スコトガ出來ナイ算數デアラカラ、關稅ハ非常ニ殖エル譯デアル、是等ヲ考ヘルト五百万圓減ルト云フ算當ガ違フト思フ、四割五分

取レルモノヲ今日マデ輸入シタガ、又今後モ何處カラ輸入サル、見込アルカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御問ニ御答致シマスガ、關稅率ヲ改正シテ原油ノ採掘者ヲ保護スルノカ、燈油ノ精製業者ヲ保護スルノカ、ト斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、私共ノ考ニハ關稅率ヲ改正シテ原油ノ輸入稅ヲ上ゲルト云フコトハ雙方ニ之ニ依ッテ保護ヲ受ケルモノデアラウ、必シモ其中ノ一方ト云フ考デハナイデアリマス、詰リ原油ノ價格ガ内外ノ間ニ鈞合ヲ得ルコトニシテ、內國ノ原油採掘業者モ相當ノ利益ヲ以テ採掘ヲ續ケテ行クコトガ出來ル、ソレカラ又製油業者モデス、一方ニ燈油ノ關稅ト云フモノガ九十六錢ト定テ居リマス以上ハ、外國ノ精製シタ油ノ壓迫ヲ受ケルコトナクシテ、其間ニ雙方相俟ッテ業ガ成立ッテ行ク、斯ウ云フ關係ニ私ハナラウト考ヘテ居ル、ソレカラシテ外國ノ原油ノ價格ハドウカト云フ御尋デアリマスガ、原油ノ輸入ハ是迄モ申上ゲマス通り、第一回ノ輸入ガ四十年ノ末デアッタ、此時百八十一萬瓦バカリ輸入シタ、其價值段ガ一石ニ付テ一圓五十九錢二厘、斯ウ云フコトデ關稅ヲ通テ居リマス、ソレカラ其次ニ四十一一年一月九日、先頃入ッタデアリマスガ、是ハ百七十八萬九千九百餘デゴザイマス、是ガヤハリ前回ノ價格ハ同ジデアル、一石ニ付テ一圓五十九錢二厘、斯ウ云フコトハ稅關ヲ今日デハ最早通テラウト思ヒマスガ、前回同ジデアリマス——マダ通リマセスカ、今手續中トハ聞イテ居リマスガ、既ニモウ通テラウト思ヒマス、價格ハ別ニ變リハナイト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置キマス、ソレデ外國ノ原油ト申シマシテモ、主ニ亞米利加「カリフォルニア」地方ノ原油デアリマスガ、是ハイロ／＼其成分ニ燈油分ノ多少ノアルコトハ分デ居リマス、燈油分ノ多イノモ少イノモ種々ノ差等ハアリマスガ、唯今神崎君ノ御問ニナリマシタ「カリフォルニア」アタリノ原油ハ質ガ惡イカラシテ、燈油分ハ二割内外シカ出ナイ、斯ウ云フ御問デアリマシタガ、サウ云フ油モアルコトハ分デ居リマス、極ク燈油分ノ少ナイモノモアリマス、併シサウデナク、モット能ク出ル原油モ地方ニ依ッテ產出シマス、デ吾々ノ調査シタコロニ依リマス、此表ニ舉ゲマシタコロノ四十五ト云フ位ハ燈油分ニナル原油ガ亞米利加ニ幾ラモアルト思フ、唯今神崎君ノ仰シヤルノハ斯ウ云フ點ガ少シ違ッテ居ラウト思フ、外國ノ方デ言ヒマス、「ランブ」ニ點ケル油ト云フモノハ攝氏ノ百五十度ヨリ二百七十度位ノ間ニ出タモノヲ「ランブ」油ニ使フト云フコトニナッテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ油ノ引火點ト云フヤウナ嚴重ナル外國ニハ規則ガアリマシテ、火ノ付易イ油ハ使ハセスト云フヤウナ取締モアル(日本デモサウシタイモンデスナ)ト呼フ者アリ)サウ云フ風デ外國ノハ溫度ノ分界ガ違ヒマス、故ニソレニ從ッテ出ル燈油分ノ分量ガ少ナイト云フコトハ是ハ自然デアリマス、實際我邦ニ於テ燈油ノ製造法ヲ見マス、必シモ外國ノ例ヲ一概ニ取ル譯ニイカヌト思フ、實際當業者ガヤッテ居ルヤリ方ヲ見マス、百二十度ヨリ二百七十五度位ノ間ヲ出ル油ハ之ヲ燈油トシテ實際使ヒ、ソレヲ又販賣シテ居ルデアリマス、サウ云フ風デアリマスカラ、燈油分ノ割合ガ四十五ト見ルノハ非常ニ高過ギルト云フ御説ハ、ソレハ外國ノ燈油ト稱スル割合カラ御比ベニナリマス、大變高過ギルト云フ風ニ見エマスガ、此百二十度カラ二百七十五度ノ間ニ於テヤリマス方法デ行キマス、百分中四十五ト云フモノハ決シテサウ不當ナル割合デナイト思ヒマス、尙此「カリフォルニア」地方デハサウ良イ質ノモノハ出ナイト言ヒマスガ、亞

米利加ノ東部ノ方アタリデハ、ナカ／＼立派ナ油ガ出ルヤウデアリマス、百分中七十モ八十モ燈油分ノ出ル油モアルヤウデアリマス(ソレハ日本ニモアル)ト呼フ者アリ)ソレハ日本ニモアルコトハアリマスガ、先ツ百分中四十五ト云フコトハ是ハ相當ナル程度デアラウ、ト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ先刻神崎君ノ御質問ニ、會社ノ利益ノ狀況ト云フコトデ、實田ノ會社ノ例ヲ御取リニナリマシタガ、マダ此實田以外ノ小サイ會社モアリマス、其ノ會社ニヨリマス利益ノ配當ノ出來ナイヤウナ會社モアリマス、ダカラ利益ノアルモノダケヲ見テ御説ヲ御立デニナリマス、大層利益アルヤウニ見エマスケレドモ、一向其利益ノ配當ヲシナイ會社モ澤山アルノデス、ソレヲ一言申上ゲテ置キマス

○青柳信五郎君 我モチヨット御尋シテ置キタイノデスガ、本案ヲ調ベルニ付テハ、詰リ關稅ノ減少ヲ求ザルコト、又外國ノ原油ヲ輸入シテ製造スル者ニ營業ヲ禁止シテマデモ此重稅ヲ課スルト云フコトハ出來ナイコトデスガ、サウデナク輸入シテ尙精製シ得ルコトデアラナラバ、其以外ニ於テハ内地ノ製油業者ヲ保護スルト云フコトハ當然ナルコトデアラウト思フ、併シソレガ内地ノ製造業者ニ害ヲ及ボシテ殆ド禁止のニマデ課稅スルト云フコトハ到底出來得ザルコトデアラウト思フ、サウナリマス、前回カラ此内地ノ石油業ハ發達ガ極メテ遲々タルモノデアッタ、或程度マデノ發達シヤシナイモノデアラカラ、ソレヲ保護シテ見タコロガ仕方がナイデハナイカト云フ御意見ガ出テ居リマスガ、吾々ガ聞キマスルトコロニ依リマスレバ、今日ハ成程原油ト云フモノハ、殆ンド越後ニ限ッテ居ルガ如ク見エル、ソレハ詰リ越後ニ於テマダ澤山資金ヲ運轉シテサウシテ掘出サル、場所ガ餘計ニアルカラ他ニ資金ヲ投ズルコトガ少イシ、又ヤル必要モナクツデアラガ、今日ニ於テハ或ハ臺灣ニモ五十石位出來ルト云フ所モアリ、又北海道ニモ出來ル、或ハ青森、秋田ト云フ如ク、全國ニ向ッテ試掘並ニ採掘ヲシテ居リマスルヤウニ聞イテ居リマス、サウ致シマスルト詰リ内地ノ石油ノ採掘ト云フモノガ、是以上ニ發達スベカラザルモノデアルトスレバソレハ保護スル要ハナイデアリマス、ケレドモ若シ是ガ力ヲ伸バシテ全國ニ互ッテ原油ヲ掘出シテ、サウシテ外國ノ輸入ヲ杜絶セシムルマデニ參リマスルナラバ、十分保護スル要モアラウト思ヒマス、之ヲ調ベマスルニハ此全國ニ互ッテ試掘地等ノ調ガ大ニ參考ニナルト思フ、誰モ採掘シ得ル見込ノナイモノニ向ッテ餘計ナ試掘稅ヲ出ス馬鹿モナシ、又試掘ヲナス者モ僅ニ越後ニ限ッテ居ルナラバ何モ手ヲ擴ゲヤルニ及バナイ、ソレガ詰リ鑛山局ノ調ニ依リ、其道ノ專門ノ人ノ調ニ依ッテ、全國ニ互リテ石油ノ湧出スル所ガアルト云フコトデアラナラバ、差支ナイ程度ニ於テ一面保護シテヤルト云フコトモ是亦必要ナコト、思ヒマスカラ、大藏當局ノ御方ニハ是ハ專門外ノコトデアラカラ、少シ御分リニナルマイト思ヒマスカラ、全國ニ互リテ試掘採掘地ノ今日ノ有様、並ニ果シテ是ガ鑛山局アタリノ見込デ若シ越後ニ限ッテモナル、外ニハ出ナイモノデアラ、將來發達ノ見込ノ無イモノデアルト云フコトノ意見ヲ聞クタメニ、即チ表ト並ニ其當局者ノ人カラ出テ尙委員會デ十分其說明ヲ聞クコトガ此問題ヲ決スルニ必要デラウト思ヒマスカラ、私ハソレヲ請求致シテ置キタイト思フ

○東尾平太郎君 前ノ委員會ニ於テ政府委員ニ精製油ハ五割稅ヲ増シテアル、原油ノ從價稅ハ如何デアル過當デハナイカト質問致シマシタ、其時政府委員ノ答辯ハ一向要領ヲ得マセンダ、要領ヲ得マセヌガ、敢テ追窮シマセヌガ、現行ノ關稅定率法中

外國カラ原料輸入シマスルモノ、從價稅ハ凡ソ何割ニナリマスカ、例ヘバ棉花ハ無稅デスカ鐵ハ何割ニナリ、羊毛ハ何割ニナルトカ、其原料輸入シマスル從價稅ノ割合ヲ表ニシテ參考マデニ同サレルコトヲ希望致シマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 原料ト云フ、ドウ云フ程度デスカ

○東尾平太郎君 鐵ノ原料、羊毛ノ原料ガ從價稅何割ニナルト云フコトヲ伺ヒタイ

○山口達太郎君 近頃關稅トコロニ依リマスト、「スタンダード」若クハ「サミユル」等ガ靜岡縣下アリマストカ、或ハ門司ノ附近ニ於テ原油ヲ輸入シテ精製スルト云フコトヲ計畫シテ居ルト云フコトヲ聞キマシタガ、果シテ其事ニ付キマシテ政府ハ其邊ヲ調査ニナリマシタカ、如何デアリマスカ、唯今ヤリツ、アルノハ南北石油會社ノミデアリマスケレドモ、今日ノ關稅ヲ其儘據置キマシタナラバ、斯ノ如ク「スタンダード」ヤ其他ノ外國人ガ續々ヤッテ來テ内地ニ於テ精製ヲ始メルデアラウト思ヒマスカ、其邊ニ付テノ御意見ハ如何デアリマスカ、今一ツハ此法律案ニ依リマスト百二十度以上ニ出マシタコロノ即チ揮發油、燈油等ニハ課稅ニナッテ居リマセヌガ、次ノ項目ニ依リマスト重油等ニモ稅ガ掛ルコトニナッテ居ル、詰リ揮發油、燈油ハ免稅致シテサウシテ原油者ニ利益ヲ得サセル御考デアリマスカ、其邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 第一ノ御尋ノ現今内地テ原油ヲ輸入シテ精製業ヲヤル計畫ヲスルモノガドシナカト云フ御問デアリマスカ、現ニヤリツ、アリマスノハ、御承知ノ通り南北石油株式會社、現ニヤッテ居ルモノハツレダケデアリマスカ、私共ノ耳ニシテ居リマストコロデハ「ライシグサン」商會ガ靜岡縣下ノ或地方ニ精製所ヲ設ケントスル計畫ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスカ、併シハ聞イテ居ルノデアリマシテ事實ヤッテ居ルカ居ラヌカト云フコトハ分リマセヌ、ツレカラ「スタンダード」ガ是亦九州ノ或地方ニ精製所ヲ設ケルト云フ計畫ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスカ、先ツサウ云フコトデ、計畫デアリマス、併シ此計畫ナルモノハ今日迄原油ノ輸入稅ト云フモノガ現行ハ一割デアアルケレドモ、果シテ一割テ永久續クモノデアアルカ、或ハドウ變更スルモノカト云フコトガ詰リ官民ノ研究中ニ屬スルコトデアリマスカ、其事業ヲ起サウト云フ人モ或ハ計畫ニ今日ハ躊躇シテ居ルノデアラウト私ハ思フ、計畫ト云フコトニ付テ私共ノ聞イテ居リマスカハ唯今申上ゲルヤウナコトデアリマス、ツレカラモウ一ツハ燈油ト揮發油ヲ見ナイノハドウカト云フ御尋デアリマス、原油ヲ精製シマストキニ出マストコロノ揮發油並ニ燈油ハ、御承知ノ通り燃料其他工業ノ原料トナルモノデアリマス、揮發油モ是亦工業用品トナルモノデアリマスカ、斯ウ云フモノニハ稅ヲ見ナイ方ガ宜カラウ、ツレサウシタナラバ精製業ヲヤル上ニ於テモ、事業ヲ經營スル上ニ於テモ、便利デアラウ、斯ウ云フ趣意カラ見ナイ計算ニシテ居リマス

○橋本久太郎君 私ハ先刻モ御尋シマシタガ、若シ此政府案ノ通りニナルモノト考ヘマシテ、政府ノ考通リニ即チ原油ノ輸入ガドシノ「ア」燈重油ヲ壓迫スルモノト假定シテ重油ヲ皆驅逐スルモノトシテ計畫ヲ立テ、サウシテ壓迫スル原油ノ這入ル見積金額ハ付カヌコトハナイト思フ、此見積ノ金額ガ原油ノ輸入稅ノドレダケニナルカト云フコトヲ御調ヲ願ヒタイ、ツレト又日本内地テ外國カラ入ッテ來ル原油ニ付テ重油ヲ内地デスルニ對シテノ藥品、是等ノ輸入稅ガドレダケト、斯ウ云フコトノ御調ハ必ズ出來ルト

思フ、固ヨリ製造者需要者トノ關係、ツレ等ノコトハ吾々ノ考ニ置クトシテデス、現在入ッテ來居ル重油原油ノ輸入稅ガ廉イガタメニ内地ノモノヲ驅逐シテシマフト假定シテ、ツレカラ起ル海關稅ハ幾ラト云フコトヲ積算シテ貰ヒタイ、ツレカラ又内地ニ於ケル此油ノ生産費ト云フモノハ、是又即チ政府委員ガ其營業者ニ就テドンナモノデアアルカ、政府委員ガ此位ノ必ズ生産費ガ掛カルモノデアルト云フコトヲ御存ジアルダケノコトヲ私ハ調ベテ貰ヒタイと思フ、ツレサウ考デハ、内地ニ今日アル即チ石油業者ニ對シテ多少ノ利益ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フ見込デアアル、即チ石油業者ヲ發達サスダケノコトハ無論與ヘナケレバナラス、併ナガラツレニモ拘ハラズ事情ガアツテ、或程度マデ止メテ需要者ニ便利ヲ與ヘテ即チ是ハ需用者ニ一面ニハ廉ク使用セシムルト云フコトノ一ツ吾々ハ途ヲ付ケナケレバナラス、ツレサウ此程度ニ付テ吾々ガ一面ニハ外油トノ間ノ比較ヲ取ツテ、一面ニハ需要者ノ方ニモ便宜ヲ與ヘナケレバナラス、又是ダケノ利益ヲ與ヘルト、現在ノ石油業者ニ非常ノ影響ヲ與ヘルノミナラズ、從來ノ即チ石油業者ノ發達進歩ヲ妨ゲル、是ダケノ損害ヲ與ヘルト、斯ウ云フヤウナ考モ附ケナケレバナラス、一面ニハ即チ外油トノ間ノ比較ト又需要者ニ對スル考モ附ケナケレバナラスカラ、ドウゾ其邊ノ材料ヲ十分ニ供給アラント願ヒマス

○秋野芳藏君 序ニチヨット此參考表ニアル米國ノ「カリフォルニア」ノ價格ガ出テ居リマスカ、是ガ千九百五年ノ出テ居リマスカ、是ハ最モ最近ノモノガ得タイ、ツレカラ又此價格ト云フモノハ今ハ値ガ廉イノデアアルカ、高イノデアアルカト云フコトガ分ラヌガ、此點ニ付テ私共ノ前ニ調ベタコロデハ「カリフォルニア」ノ重油ハ「石炭」標準ニシテ、石炭一噸ガ幾ラナラバ重油一噸ハ幾ラト云フコトデ、石炭ノ價格カラ取ツタコトモゴザイマスカ、是ハ千九百五年頃デアリマスカ、此最近ノモノガ得タイ、ツレカラ是ハ平均トアリマスケレドモ、四十錢位カラ一弗十五錢位マデイロ「アルサウデアリマスガ、此平均ト云フモノハドウ云フ風ニ出シタモノカ、マルデ分ラヌ、要スルニ此外國ニ於ケル原油ト云フモノノ實價ト云フモノト、其高低ト、ツレカラ既往ノ見込ニ依ッテ將來等ノ想像サレルヤウナ材料ガ得タイ、今度ハ二割ト云フノガ八割ト云フ近來ノ突飛ナ上ゲデアリマスカ、サウ云フ參考書ニ依ッテ考ヲ立テ、見タイと思フカラ、ドウゾ願ヒマス

○神崎東藏君 ツレカラ越後ノ今現ニ石油業ヲヤッテ居ル會社ノ數、其資本、ツレカラ會社ノ成績ト云フヤウナモノガ分リマシタナラバ、ツレモ御調ヲ願ジテ置キタイと思ヒマス

○委員長(野田卯太郎君) 今日ハ是デ閉會シマス、次ハ公報ヲ以テ報告シマス

午後零時十七分散會

明治四十一年二月二十六日印刷

明治四十一年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局